



今年も新米の時期がやってきました。

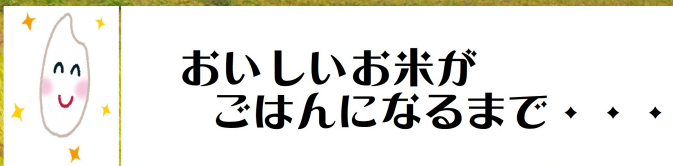
今年も新米の季節がやってきました。

この風景は毎年庄内地方の風物詩となっています。バックには鳥海山、青空、黄金色に輝く稲穂。暑い夏が長かった分、ようやく待っていた秋が来たと感じられます。昨年は夏に記録的な大雨にみまわれ作況指数も不良となった年で、全国的に米不足になり備蓄米が放出されるなど、令和の米騒動ともいわれ「お米」についてクローズアップされることとなりました。

今年は5月下旬に低温、日照不足で茎数が伸びず心配されましたが6月以降は持ち直し、出穂期に入り連日の猛暑で雨が降らず水管理が課題となりましたが、無事に稲刈りの時期を迎えました。

そでうら産米の品質は良好であり9割以上が一等米に格付けされています。

天候に左右される稲作。天候の影響をうけながらも令和7年産米は良好な作柄となりました。



おいしいお米が
ごはんになるまで・・・



コンバインで刈取ります。



刈取った籾をトラックへ。



トラックでカントリーエレベーターへ
搬入します。



乾燥調製してJAで検査をします。



新米の炊き立てを
めしあがれ!!



JAが丁寧に
精米し
袋詰めをします。

パッケージ
されたものは
その後店頭へ
並びます。



ここで格付けされます。

ちよつとおじゃまします

そでうら農業後継者にきく

農業後継者が減少している昨今、そでうらの農業を支える担い手を紹介していくコーナーです。今回は坂野辺新田の地主友徳さんに稲刈作業の合間にお時間を取っていただきお話を伺いました。

0. 農業を始めたきっかけと、就農してどれくらいになりますか。

農家の一人息子だから将来は農家を継ぐのは当然という雰囲気
が嫌で、なるべく農業から遠ざかりたいと思い県外就職しました。
自炊でスーパーの野菜を買うも味が今一つに感じる。実家の野菜
の美味しさが身に染みました。考えると農業で自分を大学まで進
学させて仕送りまで送ってくれた農家の両親はすごいなあと感じ
ました。農業は人生を懸ける価値があるのではと思うようになり
30歳を過ぎて就農を決意し、実家に戻り農業をはじめ10年が
経ちました。

0. どんな作物を作っていますか。

米・ナス・トマト・メロン・柿を作っています。

0. 農業してきて良かったことは、感じることはありますか。

農家になって妻と知り合い結婚でき三児に恵まれました。

0. 10年後の自分はどのようなでしようか。またどうしてい きたいですか。

いつか農家レストランをやりたいので夢を実現できるように頑
張ります。



ご両親の背中を見て感謝の気持ちを忘れず、就農した
友徳さん。誠実で素敵な人柄が伝わってきました。
ご自身の夢に向かって頑張っていく姿は、今度は三人
のお子さんたちにもきっと伝わっていくことでしょう。



農作業職業紹介に ついて

JAそでうらでは農家や農業法人の
労働力不足を補うため農作業のお手
伝い、働いていただける方を無料で
紹介する職業紹介を行なっています。

求人票の閲覧はJAそでうらHP・
農作業職業紹介から見ることがで
きます。

JAそでうら
農業無料職業紹介所
厚生労働大臣許可
番号 06-ム-300013



お問合せは
営農販売部
電話 92-4760
担当 加賀